

## 服飾造形・実習Ⅰ

中山 経子 白倉 圭子 齋藤 宣

服飾造形科1年 通年 必修 教生実習10日含

## ◆授業の方針・概要

市場調査に始まり、デザイン考案、製図、トワル作成、仮縫い、縫製、仕上げまでの一連の制作工程を実習し、服飾造形に必要な基本的理論、パターンの引き方、服の構成、縫製技術、ハンドワークなど、服作りの基礎を修得する。写真演習では映像のスペシャリストやプロのカメラマンを招き、撮影の仕方や表現方法を学び、ポートフォリオ作成に活かす。ドローイングでは、ものの捉え方を学ぶ。また、立体構成(ドレーピング&パターンメイキング)実習Ⅰと連携して行なう。

## ◆到達目標(学修成果)

洋服作りの基本的な理論と技術の修得に加え、デザインに適した作品作りができるようになる。また、各種検定の資格取得も目標とする。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、1年次修了に必要な科目。基礎を学び、将来的には自由な造形表現につながる。

## ◆授業計画

回数		授業内容	準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1週	スカート 部分縫い	用具について、採寸について、1/2 製図	復習：1/2 製図まとめ	30分 ～ 60分
2週		市場調査、実寸製図、トワル(ピン打ち)、1/2 製図	予習：市場調査まとめ シーチング地直し	
3週		縫製(フラットファスナー付け・ベルト付け)、部分縫い提出、ハンドワーク(刺繍)①	復習：縫製など	
4週	スカート	デザイン相談、実寸製図、トワル仮縫い、工業用パターン作製	予習：デザイン考案 シーチング地直し	
5週		裁断、縫製、ハンドワーク(刺繍)②	予習：生地地直し 縫製手順作成	
6週		縫製、仕様書、作品提出・発表、1/2 製図	予習：仕様書作成 コーディネート考案	
7週	ブラウス	市場調査、原型について、1/2 製図、ハンドワーク(刺繍)③	予習：市場調査まとめ	
8週		デザイン相談、実寸製図、トワル仮縫い、	予習：デザイン考案 シーチング地直し	
9週		工業用パターン、裁断、縫製(衿付け・袖付け)、ハンドワーク(刺繍)④	予習：生地地直し 縫製手順作成	
10週		縫製、仕様書、作品提出・発表	予習：仕様書作成 コーディネート考案	
11週	ワンピース 部分縫い	市場調査、1/2 製図、部分縫い(コンシールファスナー付け)、実寸製図、ハンドワーク(刺繍)⑤	予習：市場調査まとめ	
12週		工業用パターン、裁断、縫製、部分縫い提出、デザイン相談	予習：デザイン考案	
13週	パンツ	市場調査、1/2 製図、実寸製図、ハンドワーク(刺繍)⑥	予習：市場調査まとめ	
14週		工業用パターン、各種検定試験対策	予習：検定試験対策	
15週	ワンピース 教生実習	実寸製図、トワル仮縫い、パターン作製、裁断	予習：シーチング地直し 生地地直し	
16週		縫製、仕様書、作品提出・発表	予習：仕様書作成 コーディネート考案	
17週	パンツ	裁断、縫製(ポケット2種、持ち出し付きファスナー付け)、ハンドワーク(スモッキング)⑦、写真演習(スマホ)①、	予習：生地地直し	
18週		縫製、仕様書、作品提出・発表、1/2 製図、写真演習(スマホ)②、各種検定試験対策	予習：仕様書作成 コーディネート考案	

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
19週	ジャケット 部分縫い	市場調査、1/2製図、実寸製図、各種検定試験対策 ハンドワーク(スモッキング)⑧、写真演習(スマホ)③	予習：市場調査まとめ 検定試験対策
20週		工業用パターン(表地・裏地・芯地)、裁断、 写真演習(スマホ)④、各種検定試験対策	予習：検定試験対策
21週		縫製(ポケット1種・テーラードカラー)、各種検定試験対策 ハンドワーク(スモッキング)⑨、写真演習(スマホ)⑤、	予習：検定試験対策
22週		縫製(袖口あきみせ・セットインスリーブ・肩パッド付け)、 各種検定試験対策	予習：検定試験対策
23週		縫製(ボタンホール・ボタン付け)、各種検定試験対策 部分縫い提出、ハンドワーク(スモッキング)⑩	予習：検定試験対策 復習：ボタンホール練習
24週	修了制作 (裏付き)	市場調査、1/2製図、デザイン相談、実寸製図、 各種検定試験対策	予習：市場調査まとめ デザイン考案
25週		ポケット3種、ベンツ、部分縫い提出、 各種検定試験対策	予習：検定試験対策
26週		トワル仮縫い、 各種検定試験対策	予習：シーチング地直し 各種検定試験対策
27週		工業用パターン、裁断、 ドローイング①	予習：生地地直し
28週		縫製、 ドローイング②	予習：縫製手順作成
29週	縫製、仕様書、 ドローイング③	予習：仕様書作成	
30週	まとめ	ポートフォリオ、作品提出・発表、子供服について、 写真演習(スタジオ撮影)	予習：ポートフォリオ作製 コーディネート考案

30分  
～  
60分

## ◆フィードバックの方法

実物作品は採点后、返却。課題や部分縫い等は添削・採点し、返却。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	65%
検定試験結果	5%
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、授業ノート等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

## ◆教科書

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I, II、SEWING I, II, III, IV、基礎テキスト

## ◆オフィスアワー

中山…毎週：木曜日 16時～17時 第5校舎3階 5303教室

白倉…毎週：木曜日 16時～17時 本校舎2階 1026教室

齋藤…毎週：木曜日 16時～17時 本校舎2階 1021教室

## ◆参考文献

Doreme NEW PATTERN BOOK No.1, 2, 3, 4, 5、Formal Wear RULE BOOK、パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック、洋裁技術認定試験問題集、ファッションビジネス I、服飾用語事典、ファッションビジネス用語辞典、FASHION NEWS

## ◆備考

授業内容、作品・課題の返却時期は変更することもある。

中山 経子 白倉 圭子 齋藤 宣

服飾造形科1年 年間10回 必修

## ◆授業の方針・概要

服飾造形の基礎的な理論やパターンのテクニックを修得する。ボディにトワルを着せ、目で確かめながら形を整えるドレーピング(立体裁断)方法と、平面上でパターン展開するパターンメイキング(平面展開・平面製図)方法を学ぶ。また、服飾造形・実習Ⅰと連携して行なう。

## ◆到達目標(学修成果)

シーチングの地直しに始まり、トワルの組立てを通してピンの打ち方、シーチングの扱い方を学ぶ。人体と服の関わりや素材による変化を理解し、トワルを的確に作成できるようにドレーピングの基礎知識を身につけられる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、1年次修了に必要な科目。パターンの基礎を学び、服飾造形の要となる平面と立体の関係を理解できる。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	採寸について、ボディについて	予習：シーチング準備 〃 地直し 復習：作業の確認	30分 ～ 60分
2回	基本スカートの考え方と作図法		
3回	スカート実寸製図、トワルの作製・仮縫い		
4回	原型の考え方と作図法、袖の考え方と作図法		
5回	ブラウス実寸製図、トワル作製・仮縫い		
6回	ワンピース実寸製図、トワル作製・仮縫い		
7回	基本パンツの考え方と作図法		
8回	パンツ実寸製図		
9回	ジャケット実寸製図		
10回	修了制作実寸製図、トワル作製・仮縫い		

## ◆フィードバックの方法

その都度、確認、返却。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、製図ファイル等を総合的に評価する。

・課題への取り組み、完成度、提出物の遅滞状況を総合的に評価する。

## ◆教科書

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I, II

## ◆オフィスアワー

中山…毎週：木曜日 16時～17時 第5校舎3階 5303教室  
白倉…毎週：木曜日 16時～17時 本校舎2階 1026教室  
齋藤…毎週：木曜日 16時～17時 本校舎2階 1021教室

## ◆参考文献

パターンメイキング技術検定試験3級ガイドブック

## ◆備考

授業内容は変更することもある。

# ファッション画Ⅰ

福地 宏子

服飾造形科1年 通年 必修

## ◆授業の方針・概要

ファッションイメージを的確に表現し伝達するために、人体のプロポーション・服の構造・生地や素材・服の型のみを描く平絵の表現を学び、人体と服についての理解を深める。

## ◆到達目標（学修成果）

- ・基本のプロポーション（8頭身）にそって服のバランスを的確に描くことができる。
- ・服の構造、ディテール、素材表現等を修得できる。
- ・平絵を修得できる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

終了要件として必要な科目となり、服飾造形の基礎力の向上に資する科目。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	・教材、授業計画の確認 ・画材の使用法	予習：履修便覧を読む	10分
2回	【人体のプロポーション】正面、横、背面の8頭身の基本バランス	復習：プロポーションの反復練習	60分
3回	【ポーズのバリエーション】	復習：プロポーションの反復練習	60分
4回	【平絵】スカート(タイト、フレアー、ギャザー、プリーツ)	復習：平絵の反復練習	60分
5回	〃	復習：平絵の反復練習	60分
6回	【平絵】シャツ(衿、N.L、袖、等ディテール表現も含む)	復習：平絵の反復練習	60分
7回	〃	復習：平絵の反復練習	60分
8回	【顔のプロポーション】基本のバランス、ヘアスタイル	復習：作業確認、反復練習	60分
9回	〃	予習：ヘアスタイルのリサーチ	60分
10回	〃	復習：顔の表情、髪型のスケッチ	60分
11回	【シャツ&スカートのファッション画】平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
12回	〃	復習：作業確認、反復練習	60分
13回	〃	復習：アイテムのスケッチ	60分
14回	【ワンピースのファッション画】平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
15回	〃	復習：作業確認、反復練習	60分
16回	【ディテールについて】衿・袖・ネックライン等	復習：反復練習	60分
17回	【柄と素材について】	復習：作業確認、反復練習	60分
18回	〃	復習：作業確認、反復練習	60分
19回	【テーラードジャケット】構造・描写の説明等、平絵も含む	復習：作業確認、反復練習	60分
20回	〃	復習：作業確認、反復練習	60分
21回	〃	復習：アイテムのスケッチ	60分
22回	【厚手生地のスケッチと表現方法】	復習：作業確認、素材リサーチ	60分
23回	【コートのファッション画】平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
24回	〃	復習：作業確認、反復練習	60分
25回	〃	復習：作業確認、素材リサーチ	60分
26回	【子供服のファッション画】プロポーション・平絵も含む	予習：デザインリサーチ、資料収集	60分
27回	〃	復習：プロポーションの反復練習	60分
28回	【シーンに合わせたファッション提案】	予習：課題進行の準備、資料収集	60分
29回	〃	復習：提案内容を振り返る	60分
30回	・まとめ ・合評会	復習：課題作品を振り返る	60分

## ◆フィードバック方法

各作品添削の際にはコメントやアドバイスの記入をして、次回以降の授業で返却する。

課題により、返却時にクラスメイトの作品を観覧する時間を設ける。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

## ◆教科書

「ファッション画法」

## ◆オフィスアワー

第1回目の授業時に指示する。

## ◆参考文献

・図解服飾用語辞典 ・各種ファッション雑誌

## ◆備考

進度により授業計画が変更になる場合もある。

# クリエイティブデザインⅠ

須澤 麻紀

服飾造形科1年 通年 年間10回 必修

## ◆授業の方針・概要

自ら創造する力を養い、デザインの楽しさを学びます。新しい創造は、コレクションやストリートからの情報をふまえたうえで、個々の感性や五感を通して生まれます。過去から現在に至るまでの建築、彫刻、絵画、音楽、演劇などの美しさを感じることで創造するオリジナルなデザイン。デザイナーに必要な感性を磨いていきます。

## ◆到達目標（学修成果）

感性と創造力を身に付けることの楽しさを知ることを目指す。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。 卒業に必要な科目。感性を豊かにし、デザイン力を身に付けることで優れた作品制作へ繋がる。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション (授業内容の説明・自己紹介) A B 合同	復習：会社を調べる	30分
2回	切り替えのデザイン① ワンピースの組み立て、デザイン線を入れる。A B 合同	予習：雑誌閲覧	30分
3回	切り替えのデザイン② 製図にデザイン線を書き込む。A B 合同	予習：雑誌閲覧	30分
4回	切り替えのデザイン③ パターン制作、裁断	予習：服飾用語辞典閲覧	30分
5回	切り替えのデザイン④ 縫製	予習：雑誌閲覧	30分
6回	ポートフォリオ① 作品ポートフォリオの必要項目について	予習：雑誌閲覧	30分
7回	ポートフォリオ② イメージ画像の配置やフォントのバランスについて。	予習：雑誌閲覧	30分
8回	デニムのテキスタイル① ・フリンジ、脱色	予習：雑誌閲覧	30分
9回	デニムのテキスタイル② ミシステッチでイラスト刺繍（トートバッグ制作）	予習：雑誌閲覧	30分
10回	メッセージ書について。メッセージ書を書く。	復習：作品の振り返り	60分

## ◆フィードバック方法

課題提出物返却時に講評を行う。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

## ◆教科書

図解服飾用語辞典、ビジネス用語辞典等

## ◆オフィスアワー

毎週：水曜日（15時30分～16時30分）5202教室（第5校舎2階）

## ◆参考文献

QUOTATION、gap 等、

## ◆備考

日程内容を変更する場合もある。

# アパレルCG I

地代 紀子

服飾造形科1年 通年 必修

## ◆授業の方針・概要

ファッション業界の現場はもちろんのこと、様々な業務で Illustrator・Photoshop がスタンダードとして使われている。授業内容は、グラフィックデザインやウェブ制作の経験をベースに、実践で役立つ大事なポイントが中心。一年を通し、やさしい操作から徐々にステップアップする流れとなっている。目的に応じたイメージを、的確なデザイン表現できる技術の基礎を学ぶ。

## ◆到達目標（学修成果）

Illustrator・Photoshop の基本操作と相互の活用を覚え、一つの形として完成させる力をつけることができる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、1年次修了に必要な科目。

Illustrator・Photoshop を効果的に使い、業務をスムーズに進めるためのスキルが身につく。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション Illustrator オブジェクトとパス 基本操作	予習：教科書を確認	15
2回	Illustrator ペンツール ベジエ曲線	予習：教科書を確認	15
3回	Illustrator ハンガーイラスト（平絵）① スカート	予習：教科書を確認	15
4回	Illustrator ハンガーイラスト（平絵）② シャツ	予習：教科書を確認	15
5回	Photoshop 写真と画像	予習：教科書を確認	15
6回	Photoshop 補正 色調補正	予習：教科書を確認	15
7回	Photoshop レタッチ 切り抜き①	予習：教科書を確認	15
8回	Illustrator カラーを操作する機能 レイヤー	予習：教科書を確認	15
9回	Tシャツデザイン① 資料集め デザインを考案	復習：データ整理・確認	15
10回	〃 ② まとめ 提出	復習：データ整理・確認	15
11回	Photoshop 選択ツール① レイヤー	予習・復習：教科書を確認	15
12回	Photoshop 選択ツール② 調整レイヤー	予習・復習：教科書を確認	15
13回	Photoshop 切り抜き②	予習・復習：教科書を確認	15
14回	Illustrator 文字を操作する機能	予習・復習：教科書を確認	15
15回	グリーティングカード① デザインを考案 /Illustrator 各種ブラシ	予習・復習：教科書を確認	15
16回	グリーティングカード② まとめ 提出	復習：データ整理・確認	15
17回	イメージボード① 資料集め デザイン・コンセプトを考案	復習：データ整理・確認	15
18回	〃 ② 各素材の作成・加工 レイアウト	復習：データ整理・確認	15
19回	〃 ③ レイアウト 一時仕上げ	復習：データ整理・確認	15
20回	〃 ④ ブラッシュアップ まとめ 提出	復習：データ整理・確認	15

## ◆フィードバック方法

授業内での質問に随時対応する。

作品は個別に講評し、フィードバックする。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

・出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は再履修とする。

## ◆教科書

きちんと身につく Photoshop の教本

きちんと身につく Illustrator の教本

## ◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

## ◆参考文献

なし

## ◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

# アパレル素材論／アパレル素材論Ⅰ

赤澤 結花

服飾造形科1年／ファッションビジネス科1年／アパレル技術科1年 通年 必修

## ◆授業の方針・概要

天然繊維を中心に繊維が糸になり、布になっていくプロセスとベーシックなファブリックの知識を学ぶ。アパレル業界で働く上で必須とされる素材に関する知識は、興味を持ってこそ身につくという考えの下、特に「見ること」と「触れること」に重点を置いた授業内容になっている。繊維サンプルを配布し、その素材に触れながら構造や特徴を学ぶ。そしてその繊維と人の歴史的背景を紐解き、その繊維に関連したビデオを見ることで、より具体的な知識を深める。また、ファブリックについては TEXTILE FABRIC INDEX を使用し、スワッチサンプルを貼りながら、その布としての特徴や組成、組織について学んでいく。更に時代のニーズとともに新しく開発されていく素材の動向の情報も織り交ぜる。

## ◆到達目標（学修成果）

アパレル素材の基本的な知識を身につける。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。アパレル業界のどの職種においても必要となるスキルを養うことに繋がる。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション	復習：ノートを見直す	10
2回	繊維の分類	復習：教科書の分類表を見る	10
3回	綿の歴史	復習：ノートを見直す	10
4回	綿繊維の構造と特徴	復習：ノートを見直す	10
5回	「 Cotton の神秘」(ビデオ)、綿の種類	復習：ノートを見直す	10
6回	紡績工程	復習：ノートを見直す	10
7回	糸について	復習：ノートを見直す	10
8回	TEXTIL FABRIC INDEX スワッチを貼る	復習：スワッチの確認をする	10
9回	TEXTIL FABRIC INDEX 生地の説明	復習：テキストの説明を読む	5
10回	〃	復習：テキストの説明を読む	5
11回	〃	復習：テキストの説明を読む	5
12回	麻の繊維(ラミーとリネン)	復習：ノートを見直す	10
13回	全体の復習	復習：ノートを見直す	10
14回	まとめ	予習：今までの復習をしておく	15
15回	羊毛の歴史	復習：ノートを見直す	10
16回	羊毛繊維の構造と特徴	復習：ノートを見直す	10
17回	「ウールの長い旅」(ビデオ)、梳毛と紡毛について	復習：ノートを見直す	10
18回	TEXTIL FABRIC INDEX スワッチを貼る	復習：スワッチの確認をする	10
19回	TEXTIL FABRIC INDEX 生地の説明	復習：テキストの説明を読む	5
20回	〃	復習：テキストの説明を読む	5
21回	〃	復習：テキストの説明を読む	5
22回	その他の獣毛繊維	復習：ノートを見直す	10
23回	フェルトの実習(3回通し)	復習：フェルト玉等を作ってみる	30
24回			
25回			
26回	絹繊維と化学合成繊維、新しい繊維	復習：ノートを見直す	10
27回	TEXTIL FABRIC INDEX スワッチを貼る	復習：スワッチの確認をする	10
28回	TEXTIL FABRIC INDEX 生地の説明	復習：テキストの説明を読む	5
29回	全体の復習	復習：ノートを見直す	10
30回	まとめ	予習：指定のスワッチを覚える	30

## ◆フィードバックの方法

筆記テスト終了後、内容の解説をする。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	70%
課題	—
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

## ◆教科書

TEXTIL FABRIC INDEX 徳永幹治著 K2 ギャラリー

## ◆オフィスアワー

毎週：月曜日(16時00分～17時00分) 5301教室(第5校舎3階)

## ◆参考文献

アパレル素材の基本 鈴木美和子・窪田英男・徳武正人著 織研新聞社/  
テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株)テキスタイル・ツリー

## ◆備考

授業内容は変更することもある。

# 服装史

鈴木 桜子

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年 前期 必修

## ◆授業の方針・概要

私たちが現在着ている服は、日本で洋服を日常的に着るようになってからたった100年に過ぎない。しかし西洋における洋服の歴史は何千年もの時を経て現在に至っている。つまりファッションを学ぶことは西洋の文化を学ぶことでもある。本授業ではファッションの世界を通して、日本の文化と西洋の文化の違いを感じてもらいたい。

本授業はノートテイキングを重視する。毎回授業ノート用プリントを配布し、授業後に提出することを課題とする。自らノートにメモをとる習慣を身につけていこう。

## ◆到達目標（学修成果）

ファッションの歴史を辿ることで、これまでのファッション、これからのファッションについて自らの見解を持てるようになることが本授業の目標である。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

1年生の必修科目である。ファッション界に携わっていく者にとっての基礎知識として、またデザインからビジネスまで幅広い視野を持ち、理解することが重要である。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	服装史の学び方 古代の服飾美 ギリシャ・ローマ様式	授業ノートの確認&教科書の該当箇所を読む	30分
2回	中世の服飾美 ロマネスク、ゴシック様式	授業ノートの確認&教科書の該当箇所を読む	30分
3回	近世の服飾美 ルネサンス、バロック、ロココ様式	授業ノートの確認&教科書の該当箇所を読む	30分
4回	近代の服飾美 新古典主義、ロマン主義、歴史主義様式	授業ノートの確認&教科書の該当箇所を読む	30分
5回	現代衣服の源流 シャネル、ヴィオネ、スキヤパレリ	授業ノートの確認&教科書の該当箇所を読む	30分
6回	戦後のモード ディオール、バレンシアガ、サンローラン	授業ノートの確認&教科書の該当箇所を読む	30分
7回	モードの多様化 アンチ・モード	授業ノートの確認&教科書の該当箇所を読む	30分
8回	日本のモードのこれから	授業ノートの確認&教科書の該当箇所を読む	30分

## ◆フィードバック方法

毎回提出する授業ノートは適宜評価をつけて返却する。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターンシップ)	—

## ◆教科書

能澤慧子監修『世界服飾史のすべてがわかる本』ナツメ社

## ◆オフィスアワー

火曜日 12:20~12:50 大学校舎研究棟4階 西洋服飾史研究室

## ◆参考文献

必要に応じて授業内で紹介する。

## ◆備考

授業進度に応じて内容を変更することがある。



## 色彩学Ⅰ／色彩学

水越 綾

服飾造形科1年／ファッションビジネス科1年／アパレル技術科1年 年間8回 必修

## ◆授業の方針・概要

仕事として「色」を扱う場合、「色」を的確に伝える事は非常に大切なポイントです。その為にはまず、配色の基本をしっかり学び、理解をする必要があります。

本授業ではファッション色彩能力検定3級受験を前提とし、テキスト『ファッション色彩Ⅰ』に沿って授業を進めてゆきます。しかし、講義の他、実際にカラーペーパーを使用した配色演習もおこない、配色の基本を体験しながら学んでゆきます。

## ◆到達目標（学修成果）

ファッション色彩能力検定試験3級合格。

個々の造形活動において「色」を効果的に活用する事ができるようになる事は勿論、日常生活の中で「色」を意識して活用できるようになる。「配色」の基本ルールを活かす事ができる。「色」を言葉で的確に表現し、第三者に伝える事ができるようになる。

また2年次以降に取得を目差す『色彩能力検定2級』に向けた色彩基礎力を築く。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級要件である。服飾に関わる様々な分野（造形・デザイン・ビジネス等）の場において、目的や状況に応じて“色”を扱う事ができるようになる。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	初回ガイダンス、概論(生活の中における色彩の働き)、色の三属性	予習:第1章、2章01を読んでおく。疑問点等をリストアップしておく。 復習(宿題):カラーペーパーに番号を振る、問題集の該当箇所の学習。	90分
2回	色の三属性を理解する(色相環・トーン一覧表作成)、ヒュー&トーン	予習:第2章02を読んでおく。疑問点等をリストアップしておく。 復習(宿題):1・2章読み返し。授業中に終わらなかった課題を完成させておく。問題集を解き、分からない点は次回質問できるようにしておく。	90分
3回	色彩理論(色の成り立ち、光と色、三原色と混色、色覚と色)	予習:3章01~04を読んでおく。疑問点等をリストアップしておく。 復習(宿題):3章の読み返し。授業中に終わらなかった課題を完成させておく。問題集を解き、分からない点は次回質問できるようにしておく。	90分
4回	色彩理論(色彩と心理)	予習:3章の読み返し。疑問点等をリストアップしておく。 復習(宿題):3章の読み返し。授業中に終わらなかった課題を完成させておく。問題集を解き、分からない点は次回質問できるようにしておく。	90分
5回	色彩理論(色彩の感情効果)、色彩の技術(配色の基礎)	予習:4章01を読んでおく。疑問点等をリストアップしておく。 復習(宿題):4章の読み返し。授業中に終わらなかった課題を完成させておく。問題集を解き、分からない点は次回質問できるようにしておく。	90分
6回	色彩の技術(色相とトーン、無彩色と柄・無地の配色、色彩構成のテクニック)	予習:4章02を読んでおく。疑問点等をリストアップしておく。 復習(宿題):4章の読み返し。授業中に終わらなかった課題を完成させておく。問題集を解き、分からない点は次回質問できるようにしておく。	90分
7回	ファッション産業と色彩	予習:5章を読んでおく。疑問点等をリストアップしておく。 復習(宿題):5章の読み返し。授業中に終わらなかった課題を完成させておく。問題集を解き、分からない点は次回質問できるようにしておく。	90分
8回	まとめとポイントの確認	予習:教科書や問題集の中で不明な点があればしつもんできるようにしておく。 復習:検定試験に向けて、教科書の読み返し、問題集を解く。	90分

## ◆フィードバック方法

提出課題返却時にフィードバックを行ないます。また、毎授業時に記入してもらい振り替わりシートへのコメントによって、皆さんの理解状況を計り、授業内容に反映してゆきたいと計画しております。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%	取組み態度・理解度・丁寧さ・課題提出状況
試験	—	
課題	70%	
検定試験結果	—	
企業評価(インターシップ)	—	

## ◆教科書

ファッション色彩 [1] 財団法人 日本ファッション教育振興協会発行

## ◆オフィスアワー

授業初回にアナウンスします

## ◆参考文献

適宜アナウンス致します

## ◆備考

# マーチャダイジング

福田 宜央

服飾造形科1年/アパレル技術科1年 年間10回 必修

## ◆授業の方針・概要

(株)サンエー・インターナショナルでのマーチャダイザーの実務経験を基に、アパレル企業の具体的な業務事例を踏まえて概況を解説し、商品計画立案から商品化までどのように行うか、ブランドビジネスの運営方法や基礎的な数字について学び、マーチャダイジングの基礎知識を修得する授業とする。

## ◆到達目標（学修成果）

マーチャダイジングを学ぶ上で必要な基礎的な専門用語や、ファッションビジネスの基本的な仕組みの大枠を理解する事を目標とする。実際に販売されているアパレル商品は、どのようにして計画され、どのような過程を経て展開されているか、商品化の全体像を理解出来るようにする。また、将来ビジネスに必要となる数字やデータの基礎を学習した上で、原価から利益の仕組みまでを理解出来るようにする。

## ◆進級・卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業後、ファッションビジネスに関わる就業を目標に、2年次に進級してより高度な専門性を学ぶ為に必要な基礎用語やアパレル業界の流れ・仕組みについて、1年次に基本的な専門知識として理解・修得する科目である。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	・ファッション業界のマーチャダイジングについて	復習：授業のまとめ	15分
2回	・ファッションビジネスの仕組み	復習：前回授業概要	15分
3回	・シーズンサイクルの解説、テーマ終わりの振り返り (Vol. 1)	復習：前回授業概要	15分
4回	・アイテム計画について	復習：前回授業概要	15分
5回	・主要なビジネス数字の解説	復習：前回授業概要	15分
6回	・販売価格と仕入原価、テーマ終わりの振り返り (Vol. 2)	復習：前回授業概要	15分
7回	・ブランド運営について	復習：前回授業概要	15分
8回	・MDプランから商品化に至るまで	復習：前回授業概要	15分
9回	・計画と実績の確認、テーマ終わりの振り返り (Vol. 3)	復習：前回授業概要	15分
10回	・年次振り返り、総まとめ		

## ◆フィードバック方法

各テーマ終わりの授業毎に実施する振り返りチェックの解答を次回授業の冒頭で解説する。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
理解度(振り返りチェック)	60%
試験(総まとめテスト)	20%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

出席状況を含む  
各テーマ終わりに振り返りチェックを実施(3回)  
年度末最終授業にて総まとめテストを実施

## ◆教科書

特になし。

授業毎に応じたプリントを配布。

## ◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

連絡先：教務課(本校舎1階)

## ◆参考文献

特になし。

## ◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

# ファッションビジネススキル

野本 睦美

服飾造形科1年 年間10回 必修

## ◆授業の方針・概要

「コミュニケーションのとり方」「社会人としてのマナー」「販売の基本、流れ」等、これからの社会、販売員に必要なスキルとなりたい自分へ自ら形成する力を身につけることを目指す。

## ◆到達目標（学修成果）

ショップの販売員の現状を知り、これから求められる人材としてのスキルを身につけることを目標とする。授業担当者の販売のプロとしての実務経験を活かし、社会で必要とされる基本知識や実践的な接客方法を習得することを目指す。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要な科目。将来の就職に向けて仕事を理解し実践できるようにする。

## ◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	コミュニケーション 1	自己紹介、自己PR	復習：講義内容の確認	10分
2回	コミュニケーション 2	第一印象	復習：講義内容の確認	10分
3回	コミュニケーション 3	笑顔と挨拶	復習：講義内容の確認	10分
4回	社会人としてのマナー 1	言葉づかい	復習：講義内容の確認	10分
5回	社会人としてのマナー 2	電話応対	復習：講義内容の確認	10分
6回	社会人としてのマナー 3	勤務態度	復習：講義内容の確認	10分
7回	販売の基本 1	1年の流れ、商品ができるまで	復習：講義内容の確認	10分
8回	販売の基本 2	接客基本用語	復習：講義内容の確認	10分
9回	販売の基本 3	購買心理、アフターケア	復習：講義内容の確認	10分
10回	まとめ、自己実現とは	なりたい自分になる	復習：講義内容の確認	10分

## ◆フィードバックの方法

毎回授業終わりに、内容・感想・質問等を記入したルーズリーフを提出してもらい、次の授業始めに返却。個人的内容に関してはコメントを記入し、全体の問題点であれば授業中にフィードバックする。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	40%
課題	30%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

## ◆教科書

なし

## ◆オフィスアワー

授業修了後、質問などに対応する。

## ◆参考文献

なし

## ◆備考

授業内容は変更することもある。

## 特別講義 I

白倉 圭子 齋藤 宣

服飾造形科1年 集中 必修

### ◆授業の方針・概要

現場で活躍するスペシャリストの講義など、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。  
アパレル業界の流れ、ファッションビジネス、クリエイション、テキスタイルなどの基本的なことから始まり、通常授業と連動しながらアパレル企業の現場を実感できる内容である。

### ◆到達目標（学修成果）

学内だけでは学べない現状を知り、企業においてのマナーや知識を身につけられる。

### ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、1年次修了に必要な科目。

### ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	WWDトレンドセミナー	先生により各回違う。 準備等ある場合は事前に知らせる。	
2回	ウォーキングレッスン		
3回	下着について		
4回	アメリカの最新事情		
5回	ドレメセミナー		
6回	NEWYORK COLLECTION TRENDセミナー		
7回	知的所有権について		
8回	アパレル業界について		
9回	写真演習(スタジオ撮影) ※補講期間に行なう		

### ◆フィードバックの方法

各講義のレポート等は、担当教員が点検・返却する。

### ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

・学習態度(出席状況を含む)、レポート等を総合的に評価する。

### ◆教科書

必要に応じて資料配布。

### ◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応。

### ◆参考文献

なし。

### ◆備考

外部講師による授業なので、内容や時間は先生により変更がある。

# ファッション実用英語

小塚 暁絵

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年 前期 選択

## ◆授業の方針・概要

本コースは、ファッション・デザインを学ぶ学習者のために英語学習内容を服飾分野に定め、服飾分野での英語でのコミュニケーションに役立つように構成されている。コースは次の四つの内容を含む：1) ファッションに関する基本的な用語（アイテム名、色、模様、素材、体形、髪型、道具、ショップなど）や表現（服の説明、コーディネート、ショッピング、販売など）を学習し、それを使った簡単な会話のパターンを練習する。2) コレクションレポートを読む。3) 国際ファッションコンペについて学ぶ。4) デザイナーやブランドについて説明する。

## ◆到達目標（学修成果）

1) ファッションに関する基本的な英単語や用語、ファッションに関する会話のパターンを多く暗記し、使用できること。2) 服のイメージやコンセプトを英語で表現できること。3) 国際ファッションコンペの概要を掴み、申し込みのために必要な内容を理解する。4) デザイナーやブランドについて、インターネットなどで調べ、英語で説明できること。以上4点を目標とする。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

一般科目として、必修2単位（高度アパレル専門科）、または選択2単位（服飾造形科・アパレル技術科）となっている。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	授業の説明、自己紹介	復習：授業内容の確認	20分
2回	服、服飾小物、靴、バッグ、アクセサリーの名称。プロジェクト①制作中の服のイメージやコンセプトを説明する。	復習：単語の整理。プロジェクト準備。	30分
3回	色、模様、素材の名称。プロジェクト①続き。	復習：単語の整理。プロジェクト準備。	30分
4回	コーディネート、スタイルとトレンドの表現。プロジェクト①続き。	復習：単語の整理。プロジェクト準備。	30分
5回	身体の部分の名称、体形と髪型。プロジェクト①発表・提出	予習：発表準備。復習：単語整理。	30分
6回	ショップとショッピング。プロジェクト①発表・提出	予習：発表準備。復習：単語整理。	30分
7回	ソーイング道具、服の作り方の英語。プロジェクト②英文履歴書を作成し自己アピールする。	復習：単語の整理。プロジェクト準備。	30分
8回	ショップ店員と客の会話。プロジェクト②続き	復習：単語の整理。プロジェクト準備。	30分
9回	コレクションレポートを読む。プロジェクト②続き	復習：日本語訳の整理。プロジェクト準備。	30分
10回	コレクションレポートを読む。プロジェクト②発表・提出	予習：発表準備。復習：日本語訳の整理。	30分
11回	コレクションレポートを読む。プロジェクト②発表・提出	予習：発表準備。復習：日本語訳の整理。	30分
12回	コレクションレポートを読む。プロジェクト③デザイナー・ブランド・アーティストについて説明する。	復習：日本語訳の整理。プロジェクト準備。	30分
13回	国際ファッションコンペについて学ぶ。プロジェクト③続き	復習：日本語訳の整理。プロジェクト準備。	30分
14回	国際ファッションコンペについて学ぶ。プロジェクト③続き	復習：日本語訳の整理。プロジェクト準備。	30分
15回	プロジェクト③発表。まとめ	予習：発表準備。	30分

## ◆フィードバック方法

ワークシート・課題ごとの課題および発表については、順次授業で返却・解説する。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	15%
試験	—
課題	85%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

プロジェクト 45%、ワークシート(授業ごとの課題) 40%

## ◆教科書

Fashionable English (Nan' un-do)

## ◆オフィスアワー

第1回の授業で指示。オフィスは、杉野服飾大学英語研究室（研究棟3階）

## ◆参考文献

必要に応じて授業内で配布。

## ◆備考

辞書（電子辞書）、A4クリアファイルを持参。

# ビジネスコンピュータ（基礎）

齋藤 宣

服飾造形科1年/ファッションビジネス科1年/アパレル技術科1年 年間15回 選択

## ◆授業の方針・概要

ビジネスにおいてコンピューターは必要不可欠である。ビジネスソフトの中でも Microsoft Office 系アプリケーションソフト（Word・Excel・PowerPoint）は各種業界の中でも特に使われている。基礎を勉強することで様々なツールの使い方を理解し、プレゼンテーションや提出資料がより分かり易く、伝わりやすい資料作成ができるよう実践していく。

## ◆到達目標（学修成果）

Microsoft Office 系アプリケーションソフトの中でも、主に Excel の基礎を理解し、資料作成するための基本操作ができるようになる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目ではありませんが、社会人に必須な PC スキルの基本を身に付ける科目である。

## ◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	Word	基本操作	復習：Word ホーム画面の確認	10分
2回		入力・編集	復習：キーボード配列の確認	10分
3回		レイアウト・図表	復習：操作順序の確認	10分
4回	Excel	基本操作	復習：excel ホーム画面の確認	10分
5回		四則演算	復習：四則演算の操作確認	15分
6回		計算初歩	復習：操作順序の確認	10分
7回		計算中級	復習：操作順序の確認	10分
8回		計算応用	復習：操作順序の確認	10分
9回		表作成の基礎	復習：操作順序の確認	10分
10回		表の書式設定	復習：操作順序の確認	10分
11回		表の編集	復習：操作順序の確認	10分
12回		表編集のまとめ	復習：操作順序の確認	10分
13回	PowerPoint	基本操作	復習：PowerPoint ホーム画面の確認	10分
14回		入力・挿入	復習：操作順序の確認	10分
15回		アニメーション・スライドショー	復習：操作順序の確認	10分

## ◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

- ・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。
- ・出席日数が2/3に満たない場合及び提出物が未了の場合は再履修とする。

## ◆教科書

なし

## ◆オフィスアワー

毎週：月曜日（15時30分～16時15分）1035教室（本校舎3階）

## ◆参考文献

エクセル&ワード&パワポ+エクセル関数 基本&便利ワザまるわかり（GAKKEN COMPUTER MOOK）

## ◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

# 服飾造形・実習Ⅰ（ドローイング）

杉山 尚子

服飾造形科 1年 年間3回 必修

## ◆授業の方針・概要

対象を正確に描写する、形としてあらわす、その能力は技術と感覚の訓練により習得される。デザイン画等にも必要な形の捉え方、画材の使い方という基礎的な素描を実習する。

## ◆到達目標（学修成果）

基本的な画材と技法を理解し、鉛筆で立体的な形を描くことができるようになる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため1年次修了に必要な科目。形の見方と描画技法は進級後のデザイン、服の制作等の学習において必要である。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	授業の進め方／素描について～画材、技法の説明 鉛筆デッサン・幾何形体	予習：画材の準備	10分
2回	布の表現 1 鉛筆デッサン	復習：画材の確認	10分
3回	布の表現 2 鉛筆デッサン	予習：作業の確認	10分

## ◆フィードバック方法

作品採点后、後期末に返却する。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

## ◆教科書

なし

## ◆オフィスアワー

授業終了後、実習室で質問等に対応する。

## ◆参考文献

なし

## ◆備考

毎時間クロッキーブック又はPMパッドを用意すること。

# 服飾造形・実習 I (ハンドワーク)

吉田 裕子

服飾造形科 1年 年間 10回 必修

## ◆授業の方針・概要

刺繍技法は、装飾手段として、世界の意匠や手工芸等に用いられ、受け継がれてきた技術です。基本技法 10 数種位、スモッキングの技法を実習する。

## ◆到達目標 (学修成果)

刺繍の基礎技法を習得し、それらの技法をアレンジし、図柄構成出来ることを目標とする。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要な科目。服飾造形の要となる服作りに応用できる。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	基礎技法 (へりの三つ折、へムステッチ①)	復習：残り作業をする。	30分
2回	基礎技法 (へムステッチ②～④) 準備	復習：残り作業をする。	30分
3回	基礎技法 (Outline Stitch、Chain Stitch、French Knot Stitch 等)	復習：残り作業をする。	30分
4回	基礎技法 (Lazy Daisy Stitch、German Knot Stitch、Fly Stitch 等)	復習：残り作業をする。	30分
5回	基礎技法 (Satin Stitch、Bullion Rose Stitch、Blanket Stitch 等)	復習：残り作業をする。	30分
6回	基礎技法 (Applique 等) 応用 (習得した技法を使ってネームを刺す) まとめ	復習：残り作業をする。 予習：応用図案構成を考える	60分
7回	スモッキング① (サンプラーの制作)、下準備	復習：残り作業をする。	30分
8回	スモッキング② (サンプラーの制作)	復習：残り作業をする。	30分
9回	スモッキング③ (サンプラーの制作)	復習：残り作業をする。	30分
10回	スモッキング④ (サンプラーの制作)	復習：残り作業をする。	30分

## ◆フィードバック方法

作品の提出後、3週間をめぐりに各担任を通して返却する。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

## ◆教科書

特になし (配布プリントあり)

## ◆オフィスアワー

授業終了後、質問など対応する。

## ◆参考文献

その都度、指示します。

## ◆備考

配布資料は、毎時間持参。授業内容は、変更することもある。